

# アンケート調査結果報告

# アンケート調査結果概要

タイトル	3Dデジタルマップに関するアンケート
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>3Dデジタルマップへの現状や今後の期待の把握</li><li>3Dデジタルマップの利用促進のつながる事項、制約になる事項の把握</li><li>都の3Dデジタルマップの利用促進につながる意見や期待の把握</li></ul>
実施時期	2020/12/7～2020/12/28
配布先	3Dデジタルマップ関連企業82社、関連団体・機関68団体の会員企業
方法	各社へのダイレクトメール、ウェブによる回答入力
回収結果	回答数 121団体

アンケート調査結果全編  
は参考資料1を参照

## アンケート配布先の業種

- 都市計画・都市再生・エリアマネジメント
- 地図・地理情報
- 建設・コンサル
- モデリング・デザイン工学
- 情報通信
- 公共インフラ
- 広告・マーケティング・情報発信
- AI・ビッグデータ
- ロボティクス
- AR/VR等の可視化
- 次世代モビリティ(自動走行・自動運転等)
- 無人航空機・ドローン

## 回答者の3Dデジタルマップへの関わり

- 現在3Dデジタルマップに関わりのある回答者：約60%  
(内訳) 3Dデジタルマップ作成者：21%  
3Dデジタルマップ素材提供者：16%  
3Dデジタルマップサービス提供者：17%  
3Dデジタルマップ利用者：46%

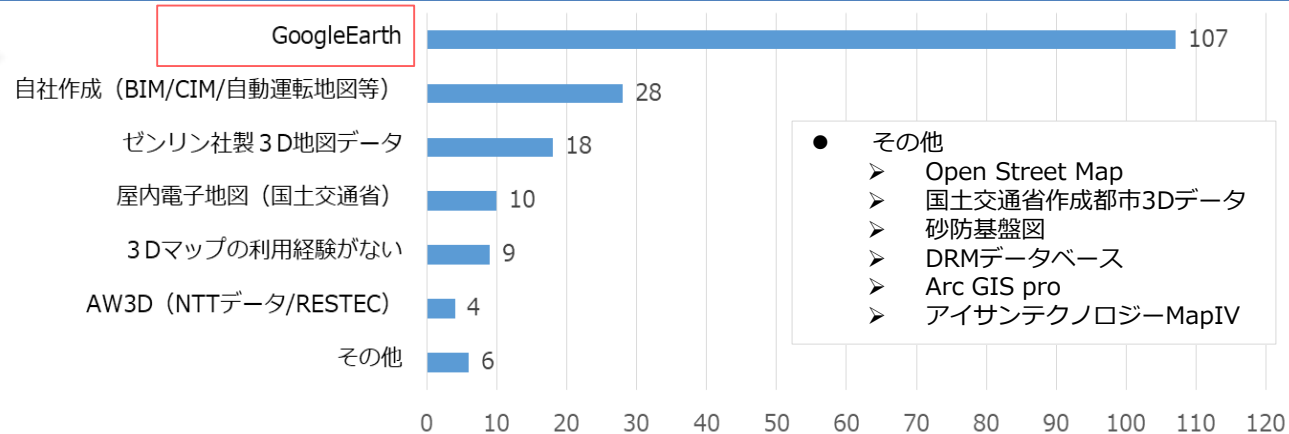
## アンケート調査結果の傾向

- 回答者の所属
  - アンケート回答者は、地図・地理情報を作成されている企業、建設・コンサルタント企業、ドローンを扱う団体が約7割程度、その他は情報通信、都市計画関連企業等
- アンケート回答からの考察)
  - 3Dデジタルマップの現状の利用は、場所の確認/周辺確認のために費用をかけずに使っている(例：GoogleEarth)
  - 現状は、都市計画、建設・コンサル、ドローンへ等の分野での活用が多い
  - 今後は、情報通信・公共インフラ、広告・マーケティング、AIビッグデータ、ロボティクスの分野での活用が高まるとの予測や、**将来3Dデジタルマップを活用したい、サービス提供したいというニーズがある**
  - 活用促進に向けて、予算、法制度、技術などの様々な観点で情報を必要としている
  - 東京都には、アイデアソン・ハッカソン・セミナー等よりも、運用ルールの策定や都保有情報の公開に期待する回答が多く、**技術実証や利用実証について一緒に取り組みたいというニーズが高い**

# 3Dデジタルマップの利用状況、現在と将来の関わり

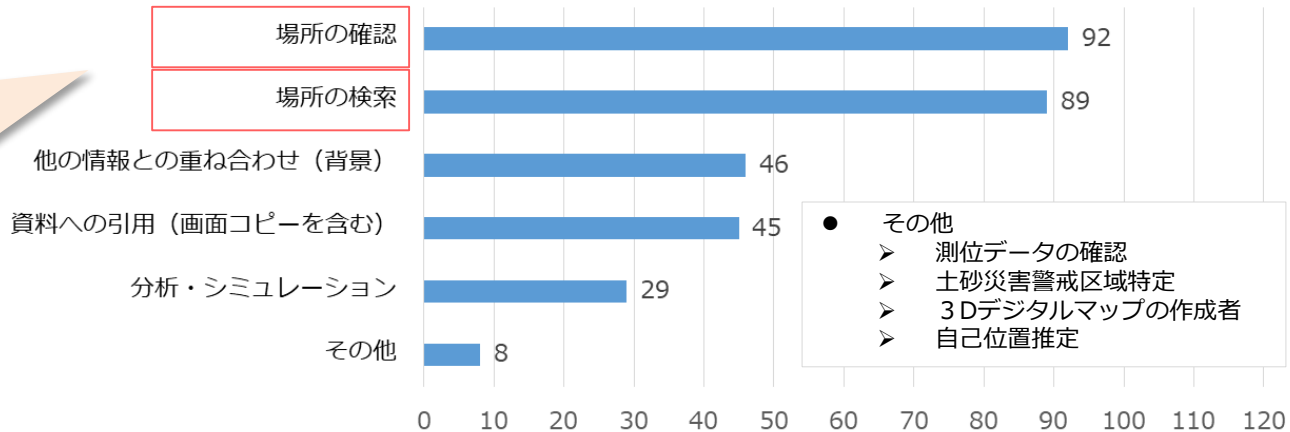
## 利用経験のある3Dデジタルマップの回答数を示すグラフ

- 費用をかけずに利用できるものの回答が多い
- 現状では3Dデジタルマップの利用が普及していない



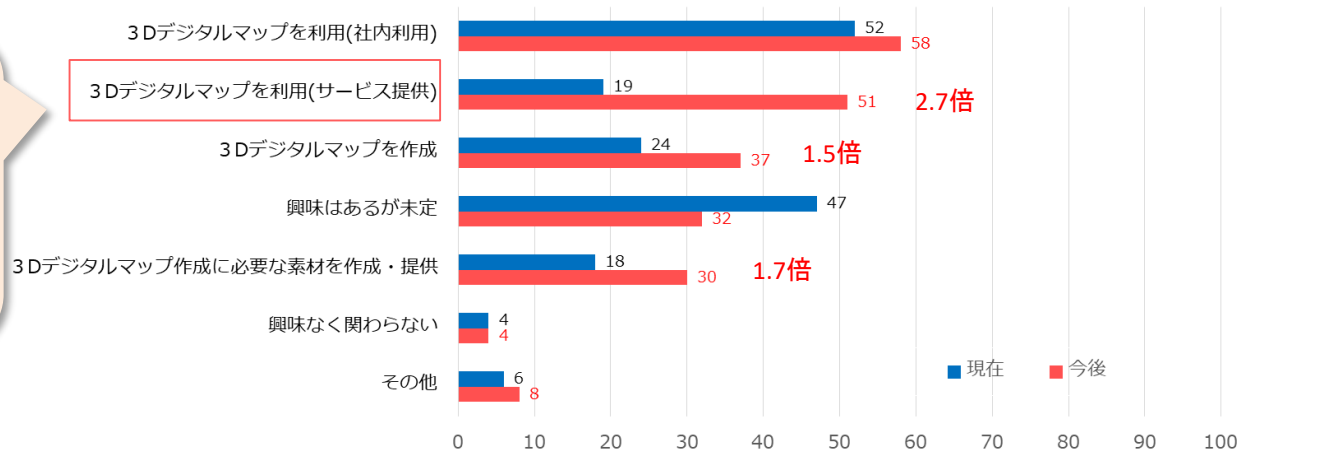
## 利用経験のある3Dデジタルマップの利用目的の回答数を示すグラフ

- 場所の確認や検索など簡易な利用方法の回答が多い
- 分析・シミュレーションなどの高度な利用はあまりされていない

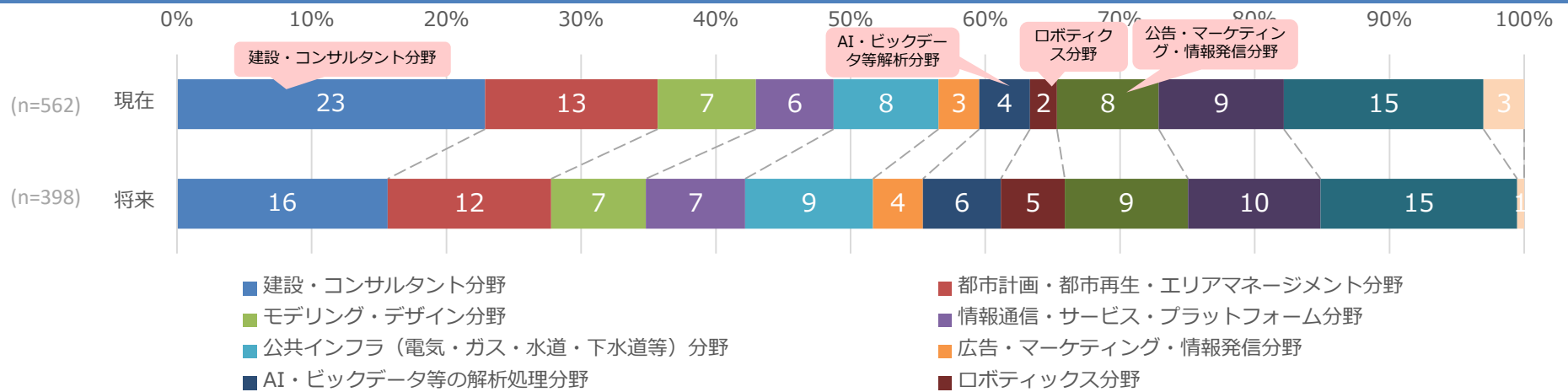


## 3Dデジタルマップの現在と将来の関わり方の回答数を示すグラフ

- 全体的に3Dデジタルマップに関わる回答が増加傾向にある
- 3Dデジタルマップを利用 (サービス提供) は、他と比べて高い増加傾向を示す

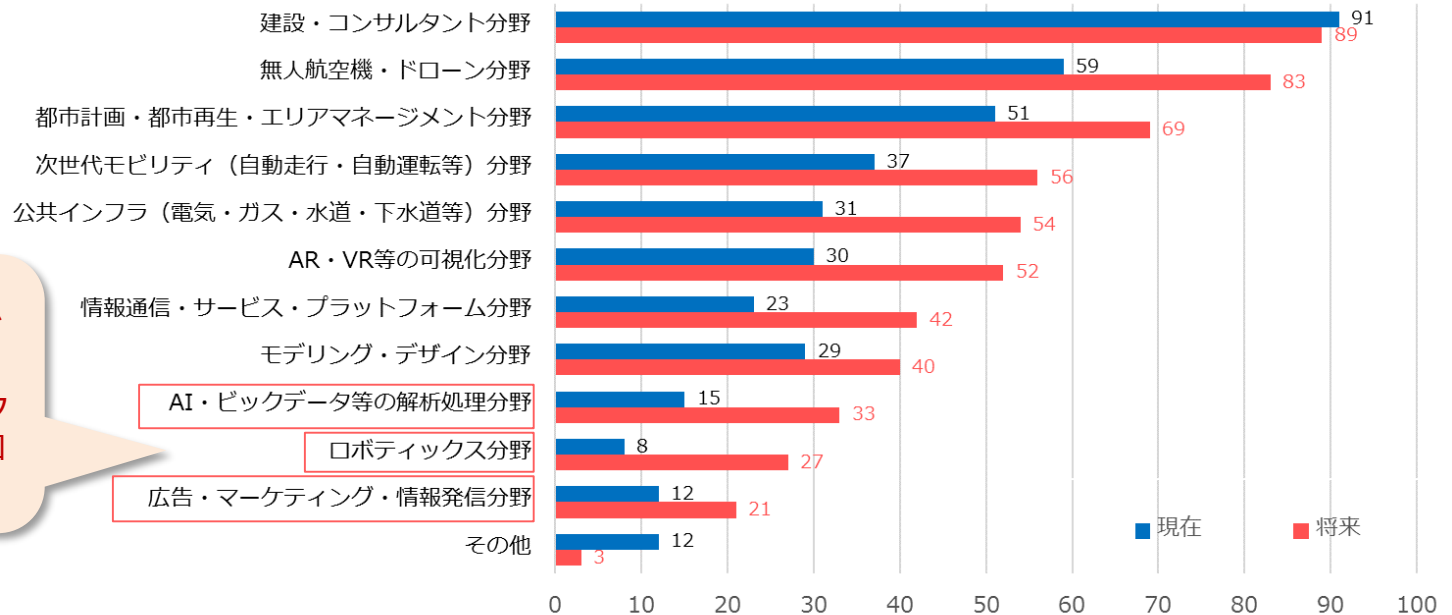


# 今後期待される3Dデジタルマップの活用分野



## 3Dデジタルマップの活用分野（現在、将来）の回答比率（%）回答数を示すグラフ

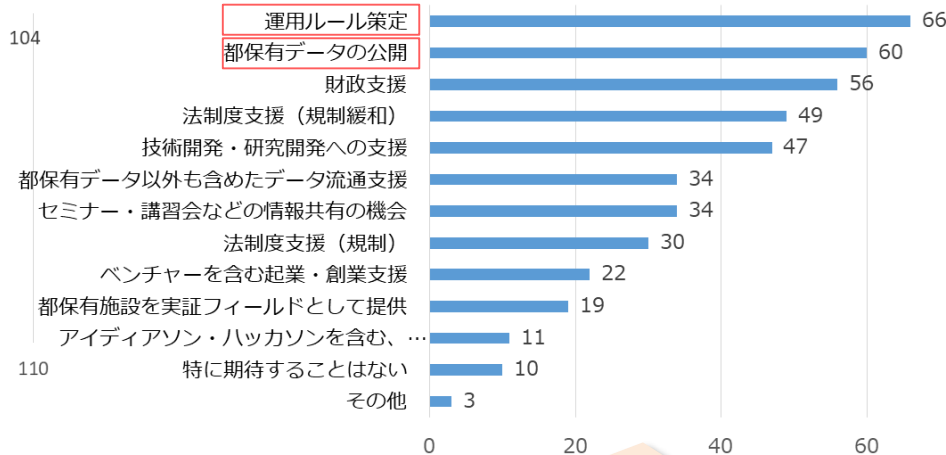
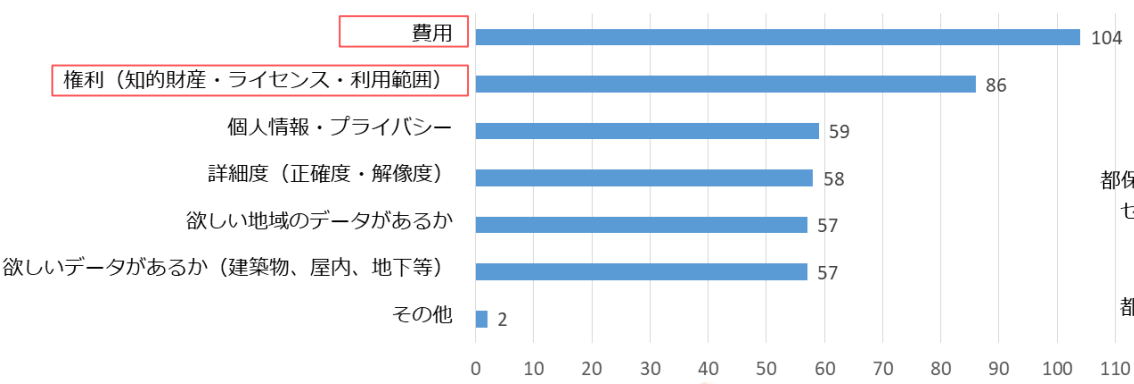
- 将来に向けた活用分野では、建設コンサルタント分野が減少傾向、AI・ビッグデータ、ロボティクス、広告・マーケティング・情報発信分野への回答が増加傾向にある



## 3Dデジタルマップの活用分野（現在、将来）の回答数を示すグラフ

- AI・ビッグデータの分野に将来で回答数が増加している

# 3Dデジタルマップ利用促進に向けた制約/リスク、東京都への期待、共同で実施したい事項



**3Dデジタルマップ活用促進に向けたリスク/制約の回答数を示すグラフ**

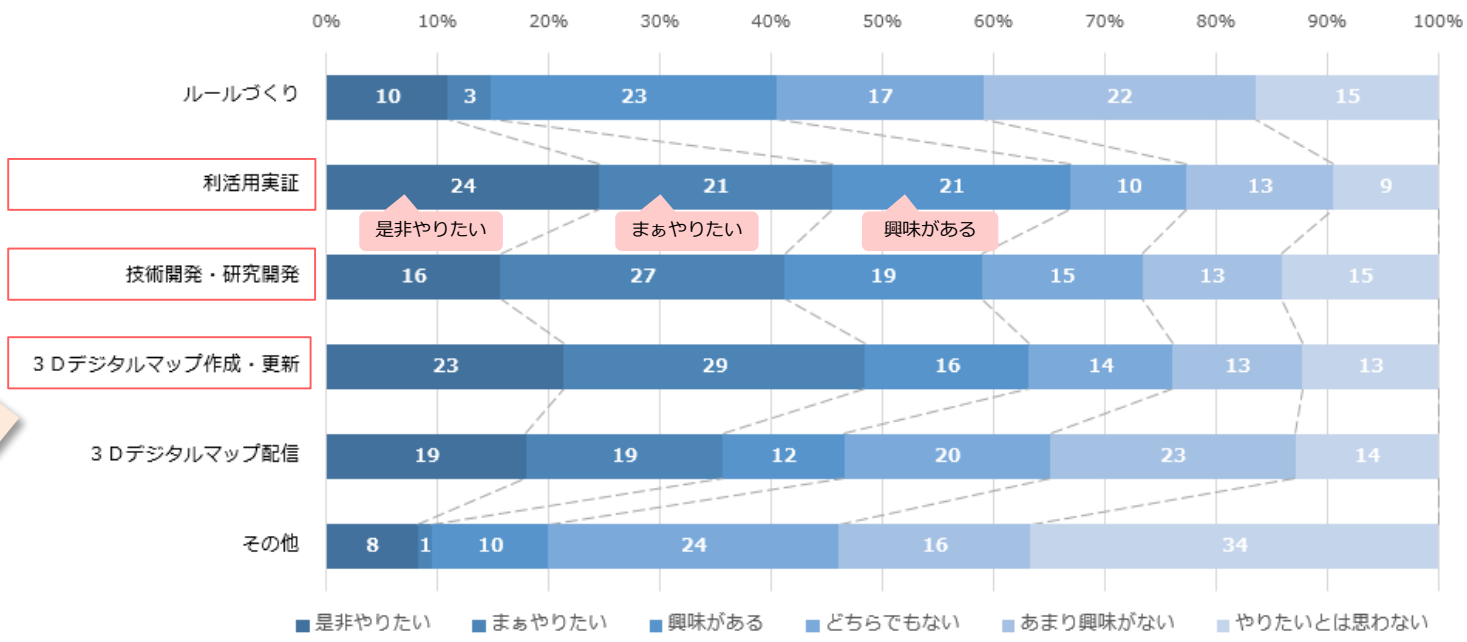
- 費用、権利 (知的財産・ライセンス・利用範囲) への回答数が多い

**東京都に期待する取組の回答数を示すグラフ**

- 運用ルール策定、都保有データの公開への回答数が多い

**東京都と共同で実施したい事項への回答比率 (%) を示すグラフ**

- ルールづくりへの回答は多くない
- 利活用実証、技術開発・研究開発、3Dデジタルマップ作成・更新にたいして、興味を示す比率が高い傾向にある

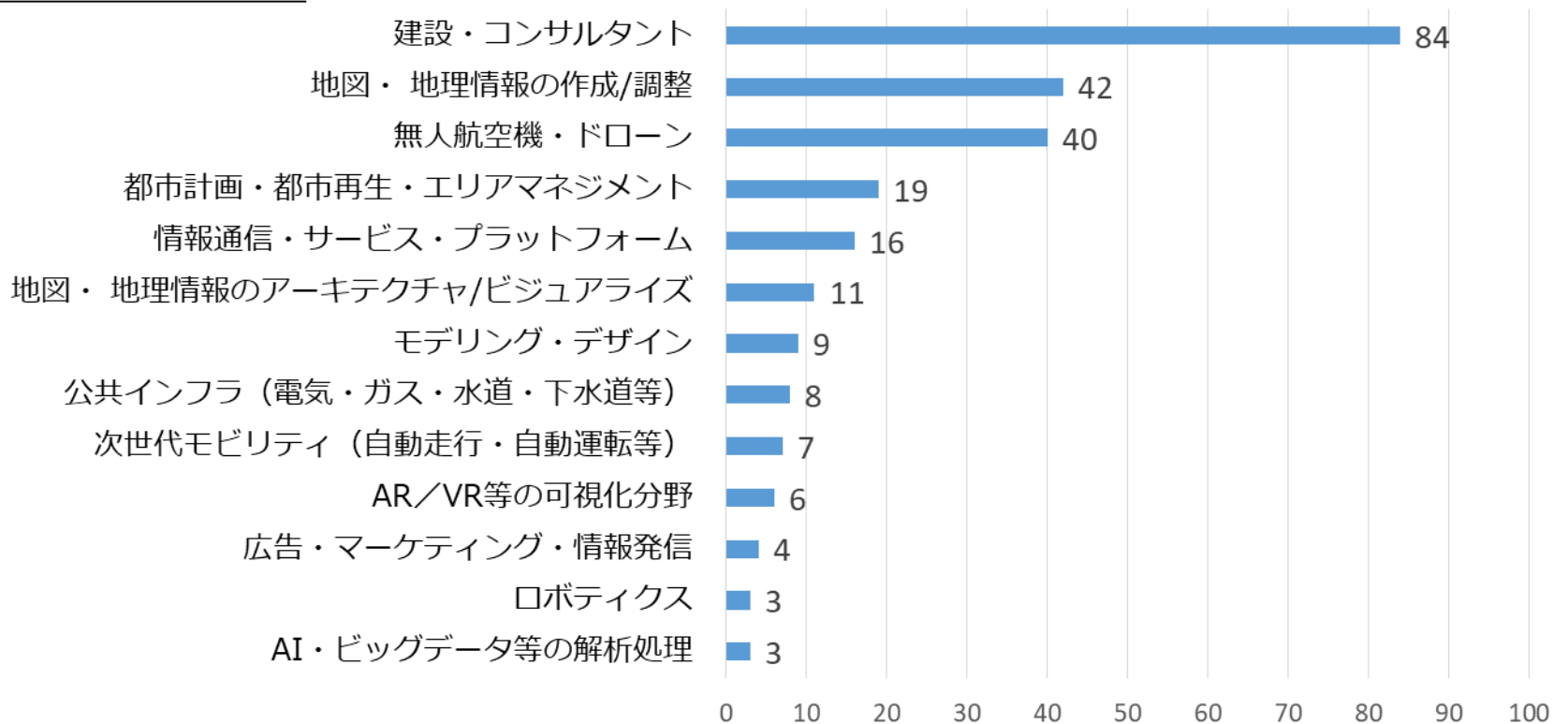


# アンケート回答詳細

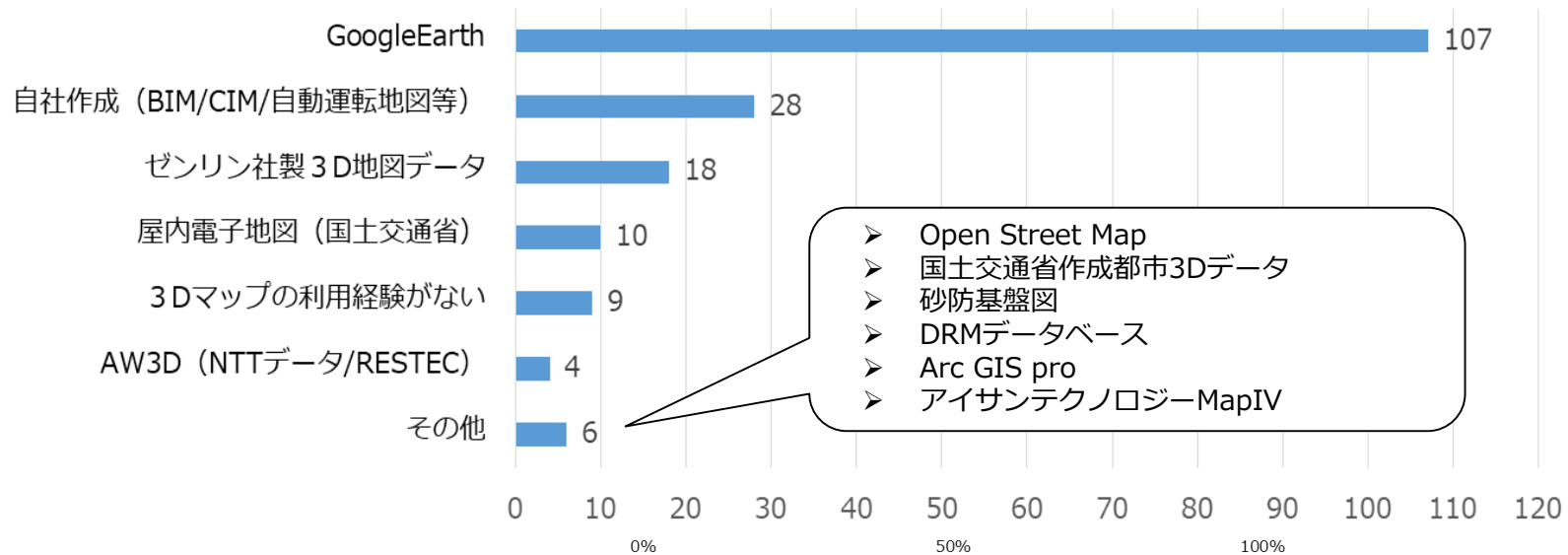
# アンケート調査結果

タイトル	3Dデジタルマップに関するアンケート
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>3Dデジタルマップへの現状や今後の期待の把握</li><li>3Dデジタルマップの利用促進のつながる事項、制約になる事項の把握</li><li>都の3Dデジタルマップの利用促進につながる意見や期待の把握</li></ul>
実施時期	2020/12/7～2020/12/28
配布先	3Dデジタルマップ関連企業82社、関連団体・機関68団体の会員企業
方法	各社へのダイレクトメール、ウェブによる回答入力
回収状況	回答数 121団体

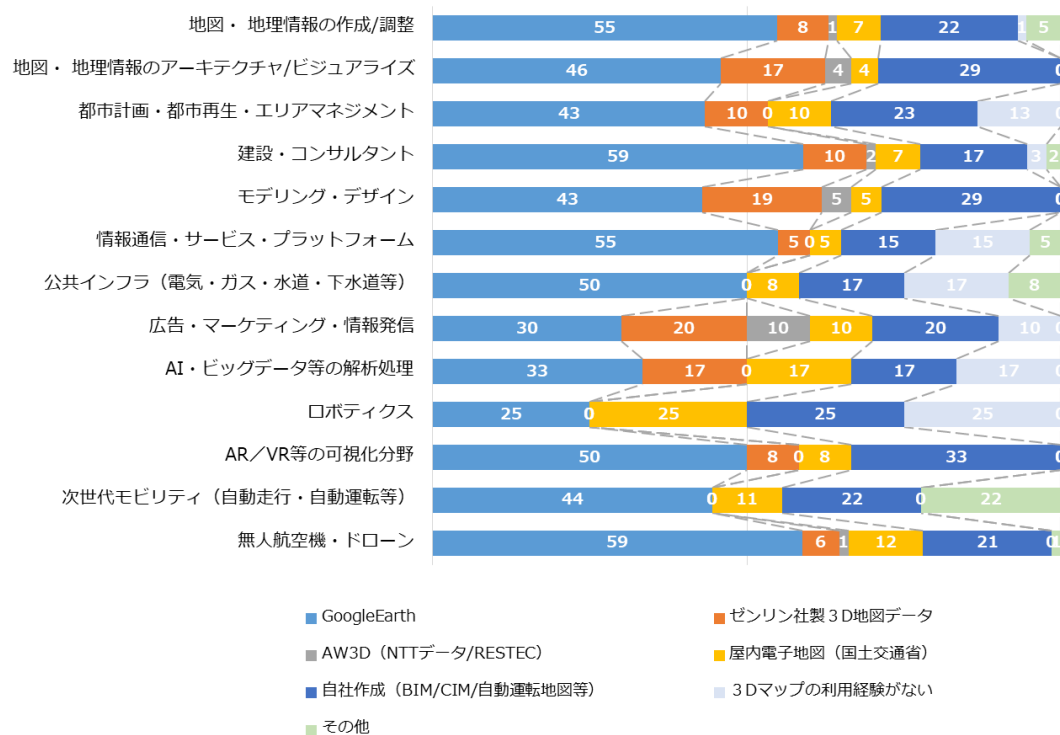
## アンケート配布先の業種と回答数



# 利用経験のある3Dデジタルマップ

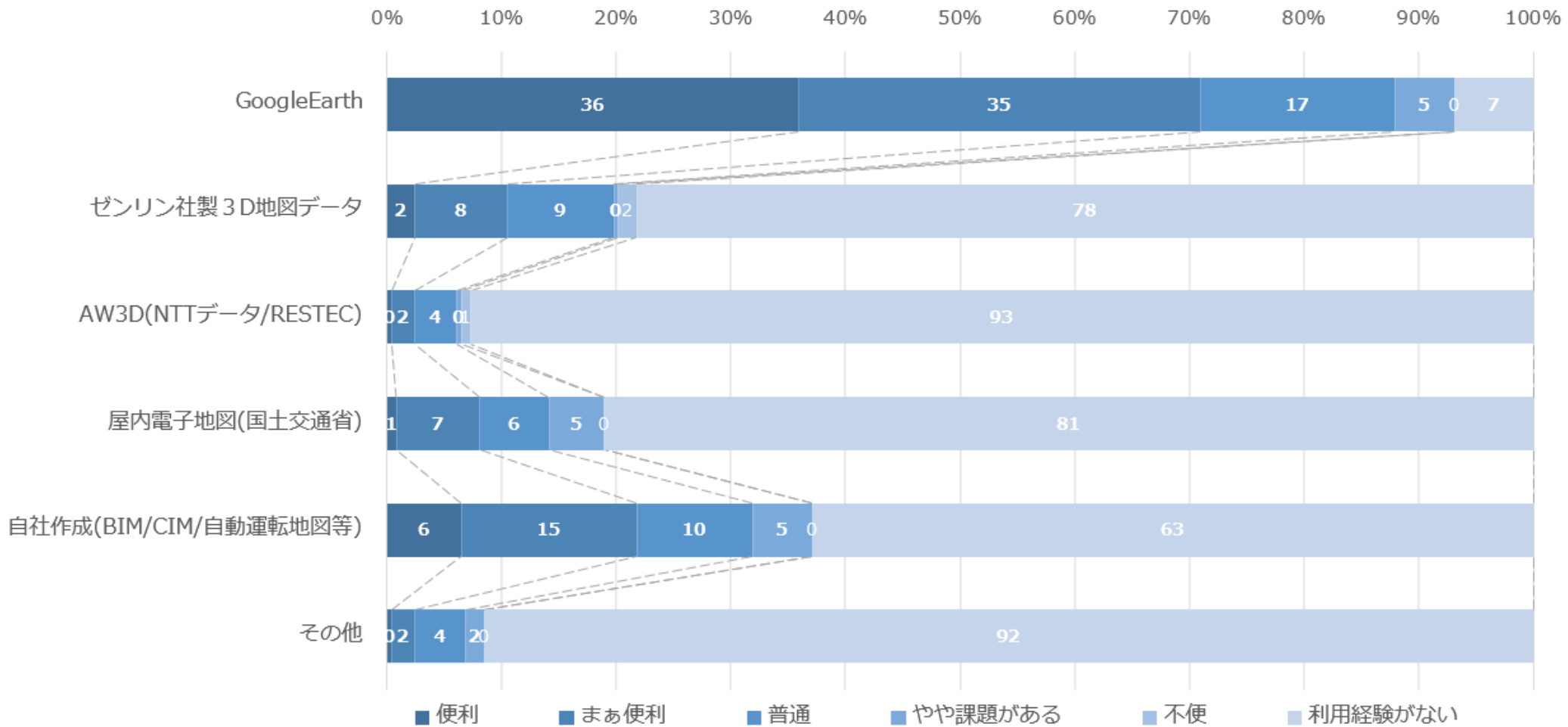


- Open Street Map
- 国土交通省作成都市3Dデータ
- 砂防基盤図
- DRMデータベース
- Arc GIS pro
- アイサンテクノロジーMapIV

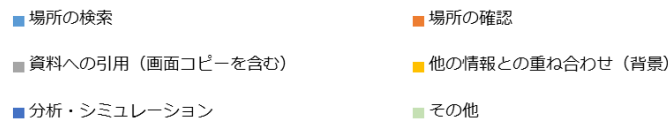
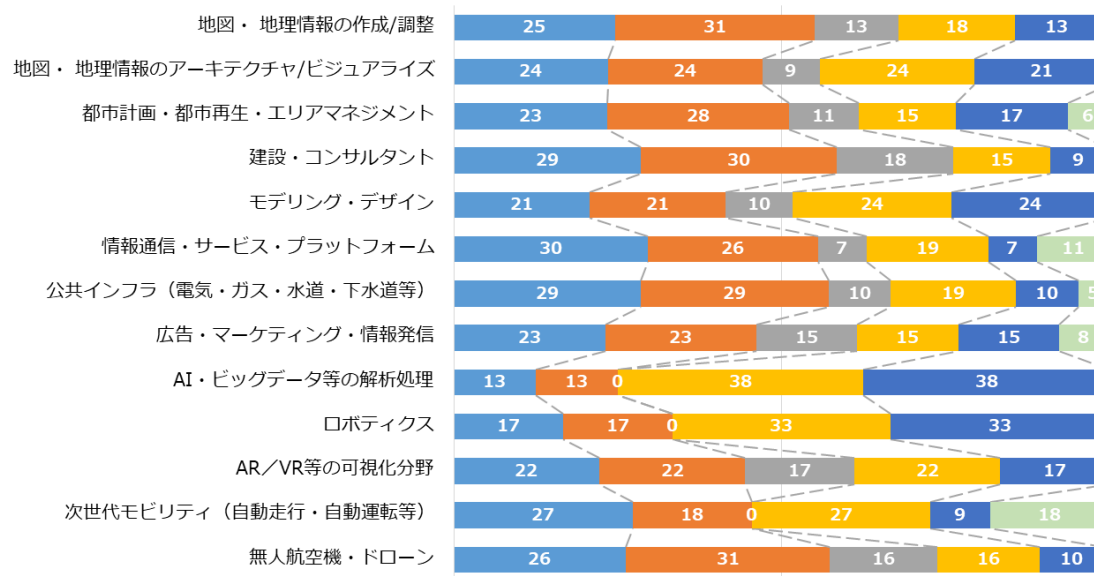
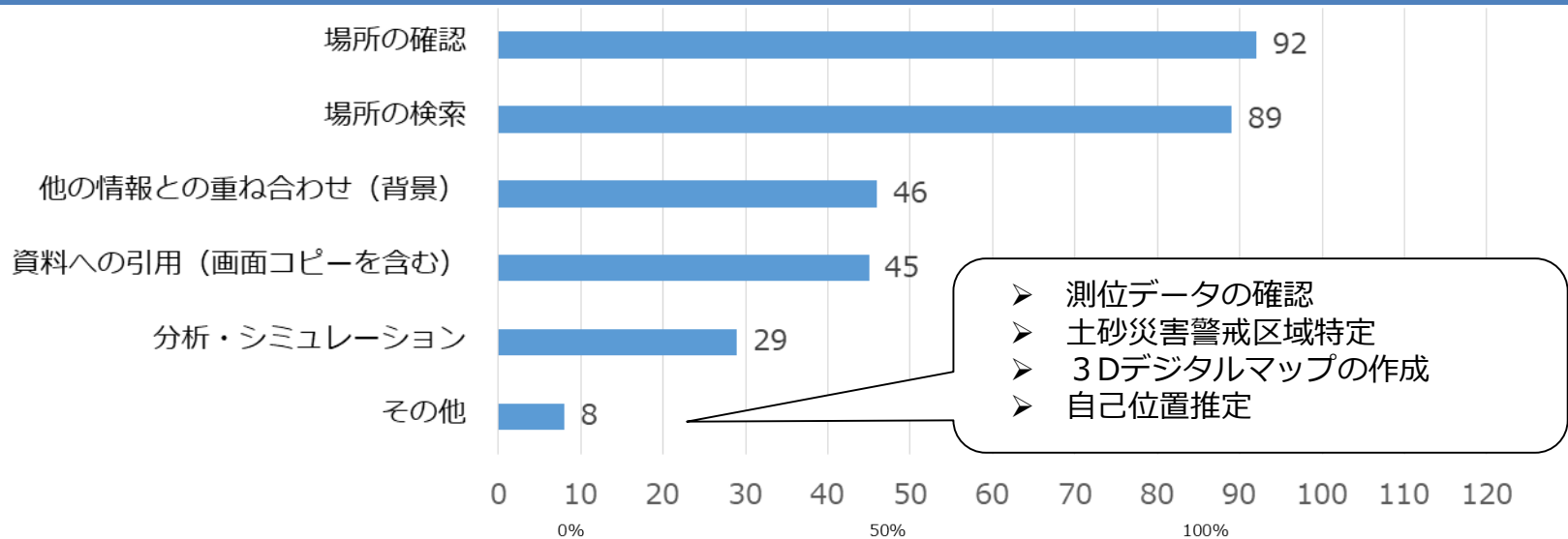




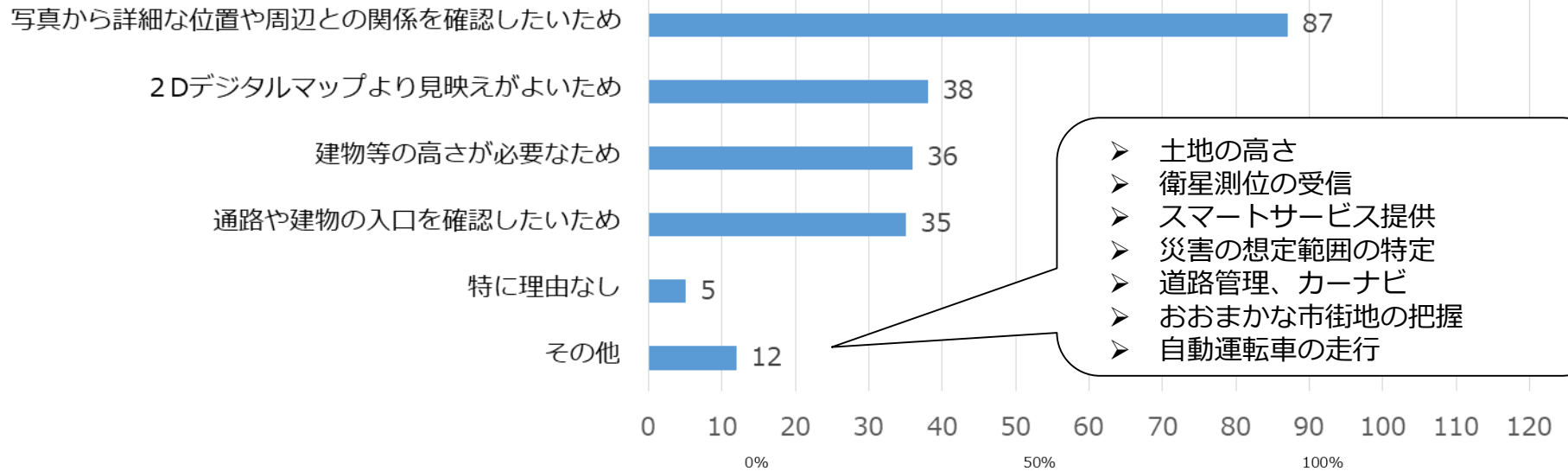
# 利用経験のある3Dデジタルマップの満足度



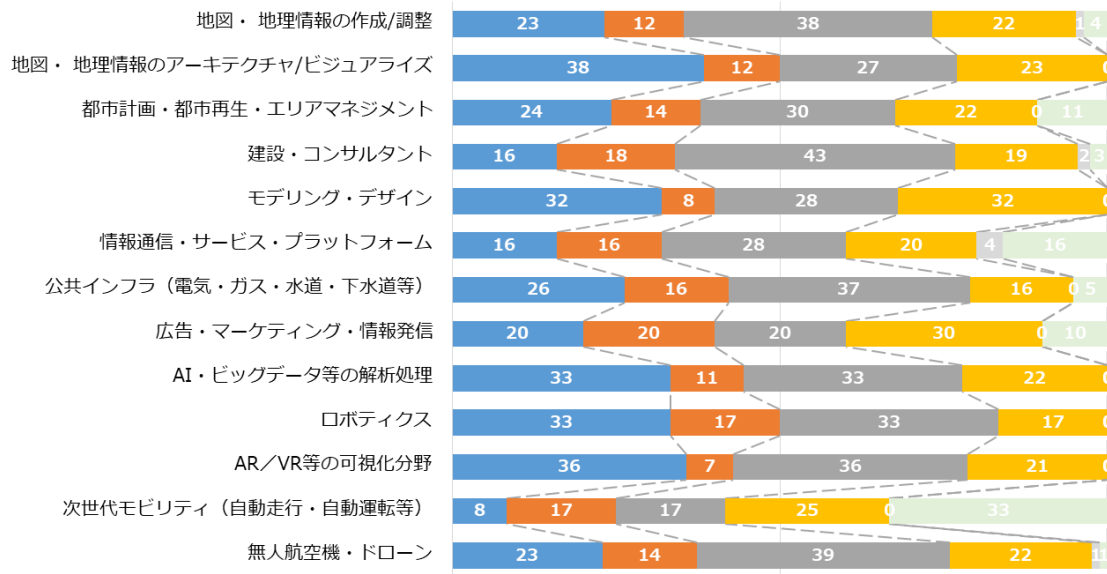
# 3Dデジタルマップの利用目的



# 3Dデジタルマップ利用の理由（背景）



- 土地の高さ
- 衛星測位の受信
- スマートサービス提供
- 災害の想定範囲の特定
- 道路管理、カーナビ
- おおまかな市街地の把握
- 自動運転車の走行



- 建物等の高さが必要なため
- 通路や建物の入口を確認したいため
- 写真から詳細な位置や周辺との関係を確認したいため
- 2Dデジタルマップより見映えがよいため
- 特に理由なし
- その他